

第25回  
記念

# 岸本カバス・リサイタル

## 岸本カ 原点に帰る

ピアノ 村上弦一郎

ナビゲータ 森山 太

センチャーブリスキー記念合唱団



I エッセニンによる叙事詩  
「ともづなを解かれたロシア」より

本邦  
初演

### Отчалившая Русь

Г. Свиридов スヴィリドフ作曲

1. 秋
2. 私は故郷の家を捨てた
3. 私に戸を開けてくれ、天上の守護者よ
4. ともづなを解かれたロシア
5. おお私は信じる、幸福はあると!
6. おお故郷よ、幸福な尽きぬ時よ!



II 歌曲集  
「死の歌と踊り」全曲

### Песни и пляски смерти

М. Мусоргский ムソルグスキー作曲

1. 子守歌
2. セレナード
3. トレバック
4. 司令官



III オペラ「ボリス・ゴドゥノフ」  
1869年原典版より

本邦  
初演

### опера“Борис Годунов”

М. Мусоргский ムソルグスキー作曲

1. 皇帝ボリス・フョードロヴィチ万歳
2. ボリスのモノローグ「悲しみに胸は痛み」
3. ボリスのアリア「最高の権力を手にして」
4. ボリスのアリア「ああ、苦しい」
5. ボリスのアリア「ああ! 胸苦しい! 明かりをくれ!  
~鐘だ! 吊いの鐘だ!

2011年10月28日 金 7:00pm開演 (6:30pm開場)

東京文化会館小ホール JR上野駅公園口



入場料 [全自由席] = 一般4,000円 学生3,000円

チケット 二期会チケットセンター ☎03-3796-1831  
取り扱い 東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650

後援 在日ロシア連邦大使館 / 毎日新聞社 / 日本・ロシア音楽家協会 / 公益財団法人東京二期会 マネジメント 公益財団法人東京二期会

お問い合わせ 二期会チケットセンター ☎03-3796-1831

# 第25回 記念 岸本カ バス・リサイタル

私のデビューは、ムソルグスキー作曲オペラ「ボリス・ゴドゥノフ」であり、その原点に帰ることにより、自分なりのロシア音楽（オペラ・歌曲）の新しい発見を求めたいと考えました。

私のライフ・ワークは、常にロシアの歌の本邦初演をリサイタル・テーマとして取り組むことです。

今回は、エセーニンの詩による叙事詩「ともづなを解かれたロシア」から6曲（本邦初演）、ムソルグスキーの歌曲集「死の歌と踊り」（全曲）、

そして、原典版「ボリス・ゴドゥノフ」（1869年版・本邦初演）を演奏します。

改めて、ムソルグスキーの偉大さを表現できればと思います。

Photo 三好英輔 [第19回 岸本カ バス・リサイタル 東京文化会館小ホール 2005.10.20.thu]



## 村上弦一郎

MURAKAMI Gen-ichiro

1971年、第40回 NHK 毎日音楽コンクール第一位を得、翌年ショパン協会の主催でデビュー。1973年桐朋学園大学卒業後、ルーマニアのブカレスト音楽院へ留学。各国のコンクールで上位入賞。1978年にはチャイコフスキー国際コンクールでファイナルディプロマを獲得している。以後も、国内、ヨーロッパ各地で、リサイタルをはじめ、室内楽、各オーケストラとの共演、放送局での録音、と幅広く活動。新作の発表にも意欲的に取り組んでいる。

2005年2月、10月のリサイタル、ベートーヴェン交響曲「田園」「英雄」のトランスクリプションでも高い評価を受ける。2002年9月には、GEN 室内管弦楽団を結成し、国内での公演は10回を超える。2004年には渡欧し、ドイツ・ハイデルベルク公演、コンチェルトの夕べで好評を博した。

ディヌ・リパッティ国際コンクール（ブカレスト）、日本音楽コンクールを始め数多くのコンクールでの審査員を務める。

2000年4月～2001年3月ハイデルベルク大学客員研究員（ドイツ）。

2003・2004年日本音楽コンクール審査員。2006～2009年全日本学生音楽コンクール審査員。

2011年8月23日に「村上弦一郎デビュー40周年記念演奏会」（サントリー大ホール）開催。現在、桐朋学園大学教授。



## 岸本カ

KISHIMOTO Chikara

東京藝術大学卒業、同大学院修了。

1973年、日本フィル「第九」、大阪フィル「森の歌」でデビュー。

1976年文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリア、オーストリアに留学。

1977年ローマ・サンタ・チェチーリア・アカデミー修了。

第41回日本音楽コンクール第1位、第17回海外派遣コンクール特別賞、第5回チャイコフスキー国際コンクールで最優秀歌唱賞。ジュネーブ国際コンクール銀賞。ヴィオッティ国際コンクール銀賞を受賞。

NHK-TV・ラジオなどに出演する他に、《第九》《森の歌》などのバス・ソロ、1984年の「ショスタコーヴィチ歌曲の夕べ」のリサイタルでは

第39回文化庁芸術祭で優秀賞受賞。オペラでは《ボリス・ゴドゥノフ》

国境警備をはじめ、《夢遊病の女》ロドルフォ公爵、《魔笛》ザラストロ、

《青ひげ公》青ひげ公、《セヴィリアの理髪師》バジリオ、《モーツァルトとサリエリ》サリエリ、《コシ・ファン・トゥッテ》アルフォンソ、《フィガロ

の結婚》バルトロ、《後宮からの誘拐》オスミン、《ドン・カルロ》

フィリッポ2世、《シモン・ボッカネグラ》フィエスコ、《ペレアスとメリザンド》アルケ王、《ムツェンスク郡のマクベス夫人》

ボリス等を演じた。1992年ショスタコーヴィチ作曲《交響曲第14番》「死者の歌」（秋山和慶指揮／東響）にバス・ソロで出演。

1993年にはタン・ドン作曲《オーケストラ・シアターII：Re》（岩城宏之指揮／東響）の世界初演に出演し話題を呼んだ。

1998年ショスタコーヴィチ作曲《交響曲第13番》「パピヤール」（いすれも長田雅人指揮／オーケストラ・ダスピ）に出演。

最近では、2003年デビュー30周年記念リサイタル、又2003年、2004年、2006年と日本フィルとの「ロシア民謡コンサート」を開催し成功をおさめた。

ロシア音楽をライフワークにしており、未知の歌曲群の紹介、ロシア歌曲集の編集などの活動は目覚ましく、日本屈指バス歌手であると同時に、ロシア音楽の第一人者である。

2010年12月「永年にわたり、ロシア芸術歌曲や民謡を中心に優れた演奏をし、我が国におけるロシア音楽の普及・振興に多大な貢献をしたとして」文化庁長官表彰賞受賞。

キング・インターナショナルより『つかれた太陽 一岸本カ・ロシア民謡集』をリリース。

武蔵野音楽大学講師、日本音楽コンクール、静岡国際オペラコンクール、学生音楽コンクール等の各審査員歴任。二期会会員。

日本・ロシア音楽家協会運営委員。二期会ロシア歌曲研究会及び二期会ロシア東欧オペラ研究会代表。

岸本カ・原点に帰る



## 森山太 (俳優)

MORIYAMA Futoshi

1996年から2000年まで劇団と契約し全国の小中学校をまわるミュージカル公演に参加。1000本以上の舞台に出演。

市川猿之助スーパー歌舞伎《オグリ》、オペラ《魔法の笛》ザラストロ役、ストラヴィンスキー作曲《兵士の物語》、多摩シティオペラ《フィガロの結婚》モーツァルト役、オペレッタ《こうもり》フロッシュ役、《マクベス》（シェイクスピア）、《サルタン王物語》、《よだかの星》（宮沢賢治）、《夜叉ヶ池》（泉鏡花）など、その他多くの舞台に出演。

また、俳優として活動を続ける一方、劇団朋友研究生による「法王庁の避妊法」の演出を手かけ、その他各種コンサートやオペラ（『フィガロの結婚』『魔笛』『椿姫』『ジャンニ・スキッキ』など）の演出も多数手がける。

2003年からは自らの構成で、ピアニスト岩崎能子氏とともに「ピアノと語り」のライブを開催。

現在では、舞台・映像・CMなど、多方面に活動の分野を広げている。

